

# 学校法人日本体育大学

## 日本体育大学社会貢献推進機構 自己点検・評価報告書

平成 28 年 1 月 15 日

(内容 平成 27 年 1 月～12 月)

日本体育大学社会貢献推進機構  
スポーツプロモーション・オフィス

# 日本体育大学の概要

設置者	学校法人 日本体育大学
理事長	松浪 健四郎
学 長	谷釜 了正
体育学部長	具志堅 幸司
児童スポーツ教育学部長	久保 健
保健医療学部長	平沼 憲治
開設年月	昭和 24 年 4 月
所在地	東京・世田谷キャンパス 東京都世田谷区深沢 7-1-1 横浜・健志台キャンパス 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 1221-1

## 設置学部・学科及びコース並びに入学定員

学部	学科・コース	入学定員	収容定員
体育学部	体育学科	620 (750)	2, 480(3, 000)
	健康学科	160 (195)	640 (780)
	武道学科	120	480
	社会体育学科	160 (195)	640 (780)
合計		1, 060(1, 260)	4, 240(5, 040)

(平成 27 年 8 月 31 日付定員増認可 平成 28 年 4 月 1 付 200 名増)

### 児童スポーツ教育学部

(平成 25 年 4 月開設)	児童スポーツ教育学科		
	児童スポーツ教育コース	150	600
	幼児教育保育コース	50	200
	合計	200	800
		(平成 27 年 9 月 1 日現在	600)

保健医療学部	整復医療学科	90	360
(平成 26 年 4 月開設)	救急医療学科	80	320
	合計	170	680
		(平成 27 年 9 月 1 日現在	340)

総合計 1, 430(1, 630) 5, 720(6, 520)  
(平成 28 年 4 月 1 日)

## 評価指標

基準	テーマ	評価の観点	
<b>生涯スポーツ社会の構築</b> 健康で豊かな	1 学内組織の整備と事業方針及び事業計画の明確化	①	地域社会への貢献活動を推進する学内組織の構築と実施体制の整備
		②	建学の精神に基づく事業方針・計画の明確化と学内における共通認識の醸成に向けた取組みの推進
	2 地域との連携体制の構築及び地域志向の教育課程編成	①	貢献活動に関する実効性のある地域社会との連携体制の構築
		②	地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成
	3 地域の課題解決に向けた効果的なプログラムの実施と貢献活動の推進	①	地域課題の発掘・解消に資する調査・研究を促進し、課題解決に繋がる実効性のあるプログラムを開発
		②	人的・物的資源を活かした公開講座等の実施
		③	ボランティア活動の推進と人材育成への取組みの充実
		④	地域の美化、防災力の向上を図る取組みの推進

### 【評価のポイント】

#### 1-① 地域社会への貢献活動を推進する学内組織の構築と実施体制の整備

組織規程等に社会貢献を主たる任務とした組織が明確に規定されているか。また、実施体制としての組織が整備されているか。

#### 1-② 建学の精神に基づく事業方針・計画の明確化と学内における共通認識の醸成に向けた取組みの推進

建学の精神、ミッション・ビジョンを踏まえた方針であるか。また、その方針を踏まえた計画が立案されているか。加えて、それらを学生・教職員に周知徹底するための方策が施されているか。

#### 2-① 貢献活動に関する実効性のある地域社会との連携体制の構築

キャンパスが立地する地域の自治体等との連携関係を構築できているか。また、大学と地域が連携して事業を推進する仕組みが備わっているか。

#### 2-② 地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成

キャンパスが立地する地域の体育・スポーツに関する課題等を学生が学習するとともに、その課題解決に資する取り組みを推進することの意義を理解させる教科目が設定されているか。また、その学習を通じた学生の理解度及び貢献活動に対する意識の向上が図れているか。さらに、それらを検証、改善する仕組みが整っているか。

#### 3-① 地域課題の発掘・解消に資する調査・研究を促進し、課題解決に繋がる実効性のあるプログラムを開発

東京都世田谷区及び青葉区を中心とした横浜市が抱える体育・スポーツに関する課題の抽出に努めるとともに、課題解決に資する研究活動を促進して健康の維持増進、スポーツ文化の向上、生涯スポーツの進展等を意図したプログラムを検討、具体性のある企画を立案して実行しているか。

#### 3-② 人的・物的資源を活かした公開講座等の実施

大学が有する人材等の資源を活用して、地域課題解決に資する公開講座等を開講しているか。

#### 3-③ ボランティア活動の推進と人材育成への取組みの充実

地域社会からのボランティア要請等に積極的に対応するとともに、それらの活動と教育課程の連動を図った人材育成に繋げているか。

#### 3-④ 地域の美化、防災力の向上を図る取組みの推進

地域社会と連携し、地域の美化に努めるとともに、地域住民を巻き込んだ防災力の向上に努めているか。

## ○ 自己点検・評価

### □ 評価基準

健康で豊かな生涯スポーツ社会の構築

#### 〈テーマ1 学内組織の整備と事業方針及び事業計画の明確化〉

##### 評価の観点

- (1) 地域社会への貢献活動を推進する学内組織の構築と実施体制の整備
- (2) 建学の精神に基づく事業方針・計画の明確化と学内における共通認識の醸成に向けた取り組みの推進

##### (評価のポイント)

- 1-(1) 組織規程等に社会貢献を主たる任務とした組織が明確に規定されているか。また、実施体制としての組織が整備されているか。
- 1-(2) 建学の精神、ミッション・ビジョンを踏まえた方針であるか。また、その方針を踏まえた計画が立案されているか。加えて、それらを学生・教職員に周知徹底するための施策が施されているか。

#### 【事実の説明】

- (1) 平成26年4月1日付けで学長を機構長、企画・管理・運営担当の副学長を副機構長として、日本体育大学社会貢献推進機構を設置した。外部団体等との連携を密接にすることを任務とした連携推進担当及び教育充実・人材育成を任務とした教育開発担当並びに地域課題の抽出と解決に資する研究活動の促進を任務とした研究開発担当、さらには三学部長及び両キャンパスのマネージャー並びに事務担当のスポーツプロモーション・オフィスのスタッフを構成員とした組織構成としている。それら構成員等と教務委員会委員長、教養教育委員会委員長、事務局長等によって編成された運営戦略会議と地域の自治体等から選出された委員を加えた地域社会連携本部会議において事業方針・計画を策定し、決定した計画の遂行は、スポーツプロモーション・オフィスが中心となって行っている。

また、運営戦略会議及び地域社会連携本部会議において方針等を決定するにあたり、基本的な考え方や具体案を検討するために、分野別委員会として「地域教育活動委員会」、「地域研究活動委員会」、「地域社会貢献委員会」の三つの委員会を設置している。なお、この三つの委員会は、平成28年度の方針等の案を検討する運営戦略会議が平成28年1月末頃の開催予定であることから、これに合わせて開催することとしている。

- (2) 本学は、建学の精神を「真に豊かな国家・社会を実現するためには、体育・スポーツの普及・発展を積極的に推進し、健全な心身を兼ね備えた全人格的な人間を数多く育成することが肝要である。」と定め、これに基づいたミッション・ビジョンを掲げている。平成27年度の事業方針は、「地域(東京都世田谷区、青葉区を中心とした横浜市)の課題及びニーズの掘り起しを積極的に行い、これに応える取り組みの開発、企画立案・実施に努めるとともに、学内における社会貢献活動を通じた質の高い人材育成につながる教育改革の検討及び社会貢献活動の全学的な周知徹底と広報活動の充実を図る。」として、これに沿った事業計画を決定した。

社会貢献活動に関しては、学生にはライフガイダンスマップ、スタートブック2015により周知するとともに、人材バンク要員を募集する際にNICS@Webにおいて概要説明を行っている。事務職員についてはSD(スタッフ・ディベロップメント)や事務連絡協議会の際に各種の

取組を周知している。しかし、教員に関しては、取組内容の周知が直接社会貢献活動に関わる一部の教員に限定され、FD(ファカルティ・ディベロップメント)等でも取り扱われていない。なお、今年度中に開催予定となっているセミナー等は実施できていない。

表1 日本体育大学社会貢献推進機構構成員(平成27年度)

担当	氏名	役職等	備考
機構長	谷釜 了正	学長	体育学部教授
副機構長	阿部 茂明	副学長(企画・管理・運営担当)	体育学部教授
連携推進担当	具志堅幸司	体育学部長	体育学部教授
教育開発担当	八木沢 誠	学生支援センター長	体育学部教授
研究開発担当	中里 浩一	総合スポーツ科学研究センター長	保健医療学部教授
体育学部長	具志堅幸司		体育学部教授
児童スポーツ教育学部長	久保 健		児童スポーツ教育学部教授
保健医療学部長	平沼 憲治		保健医療学部教授
ベースマネージャー(世)	後藤 彰		体育学部准教授
ベースマネージャー(健)	波多腰克晃		体育学部准教授
スポーツプロモーション・オフィス	白旗 和也	オフィスディレクター	体育学部教授
〃	大高 秀二	アシスタントオフィスディレクター	事務局次長
〃	森 晴雄	アシスタントオフィスディレクター	健志台統括
〃	塚田 直彦	主任	
〃	間宮 将		学生支援センター健志台事務室
〃	大久保 瞳		

表2 運営戦略会議構成員(平成27年度)

役職等	氏名	備考
機構長	谷釜 了正	学長
副機構長	阿部 茂明	副学長(企画・管理・運営)
副学長(教学・学生生活)	袴田 大蔵	
学部長	具志堅 幸司	体育学部
	久保 健	児童スポーツ教育学部
	平沼 憲治	保健医療学部
連携推進担当	具志堅 幸司	体育学部長
教育開発担当	八木沢 誠	学生支援センター長
研究開発担当	中里 浩一	総合スポーツ科学研究センター長
ベースマネージャー	後藤 彰	東京・世田谷キャンパス
	波多腰 克晃	横浜・健志台キャンパス
教務委員会委員長	袴田 大蔵	副学長(教学・学生生活)
教養教育委員会委員長	藤田 主一	教養・教職科長
大学事務局長	藤野 雅博	
オフィスディレクター	白旗 和也	
その他機構長が必要と認めたる者	荻 浩三	学長室長
	大高 秀二	事務局次長
	森 晴雄	健志台統括

表3 分野別委員会構成員(平成27年度)

表3-1 地域教育活動委員会(※=委員長)

氏名	学部	研究室(領域)名	備考
※ 後藤 彰	体育	教職教育	ベースマネージャー(世田谷)
横山 順一	体育	社会福祉学	アドミッションセンター長、FD委員長
波多腰 克晃	体育	スポーツ哲学	ベースマネージャー(健志台)
安達 瑞保	児スポ	栄養教育学	
齋藤 雅英	体育	教育心理学	
樋口 毅史	保健医療	運動器外傷学	
岡部 綱好	保健医療	救急医療学 I	
岡本 美和子	児スポ	母子保健	児童スポーツ教育学科長
惠 元			企画部課程・評価課長、IR室長補佐
塚田 直彦			スポーツプロモーション・オフィス 主任

表3-2 地域研究活動委員会(※=委員長)

氏名	学部	研究室(領域)名	備考
依田 充代	体育	スポーツ社会学	
野村 一路	体育	生涯スポーツ学	
※ 中里 浩一	保健医療	運動生理学	総合スポーツ科学研究センター長、研究開発担当
伊藤 雅充	児スポ	コーチ学	
岡本 孝信	体育	運動生理学	
近藤 智晴	児スポ	スポーツ教育学	
田中 信行	体育	アダブテッドスポーツ学	
塚田 直彦			スポーツプロモーション・オフィス 主任

表3-3 地域社会貢献活動委員会(※=委員長)

氏名	学部	研究室(領域)名	備考
佐野 昌行	体育	スポーツ経営管理学	
大石 健二	体育	測定評価学	
水野 増彦	体育	陸上競技	寮監長、学友会総務部長
三宅 良輔	体育	体操	東日本復興支援プロジェクト長
亀山 有希	児スポ	スポーツ社会学	
富田 幸博	体育	スポーツ経営管理学	
石井 隆士	体育	陸上競技	学友会会長
伊藤由美子	児スポ	体操	
成田 和穂	保健医療	スポーツ医学(内科系)	
津田 博子	体育	ダンス・伝統芸能	
※ 白旗 和也	体育	教職教育	スポーツプロモーション・オフィス オフィスディレクター
塚田 直彦			スポーツプロモーション・オフィス 主任

【エビデンス集・資料編】

1. 1-(1)-1 学校法人日本体育大学組織規程(抄)
2. 1-(1)-2 日本体育大学社会貢献推進機構規程

3. 1-(1)-3 運営戦略会議の議事録
4. 1-(1)-4 地域社会連携本部会議の議事録
5. 1-(2)-1 平成 27 年度事業方針及び事業計画
6. 1-(2)-2 ライフガイダンスマップ及びスタートブック 2015
7. 1-(2)-3 日体大の地域社会貢献(NICS@Web)
8. 1-(2)-4 事務職員研修会資料

## 【自己評価】

テーマ1は概ね満たしているが、学内の教職員・学生に対する社会貢献に関する周知及び意識醸成のためのセミナー等が未開催となっている。

## 【改善・向上方策(将来計画)】

教員に対するFD、全学的なセミナーの開催等、未対応の内容については、計画的な企画設定をして実行することが必要である。また、計画の策定が当該年度の 4 月となっていることから、各種の企画設定に時間的な余裕がなく、作業的にも無理がある中で進める状況になっている。次年度以降については、翌年度の計画案等を前年度の 12 月までに固め、各種の企画設定を年度末までに完了させ、その後の広報活動や周知徹底につなげるよう進めることにより、全体計画の確実性を高めることが必要である。

## 〈テーマ 2 地域との連携体制の構築及び地域志向の教育課程編成〉

### 評価の観点

- (1) 貢献活動に関する実効性のある地域社会との連携体制の構築
- (2) 地域志向の人材育成と貢献活動に繋がる教育課程の編成

### (評価のポイント)

- 2-(1) キャンパスが立地する地域の自治体等との連携関係を構築できているか。また、大学と地域が連携して事業を推進する仕組みが備わっているか。
- 2-(2) キャンパスが立地する地域の体育・スポーツに関する課題等を学生が学習するとともに、その課題解決に資する取り組みを推進することの意義を理解させる教科目が設定されているか。また、その学習を通じた学生の理解度及び貢献活動に対する意識の向上が図れているか。さらに、それらを検証、改善する仕組みが整っているか。

## 【事実の説明】

- (1) 東京都世田谷区(スポーツ推進担当部所管)、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団(事務局所管)、横浜市市民局(スポーツ振興部所管)、公益財団法人横浜市体育協会(地域スポーツ振興部所管)、横浜市青葉区(総務部区政推進課所管)と連携協定を締結し、各団体から地域社会連携本部会議の構成員が配置され、年 2 回会議を開催して事業方針・計画の検討・策定及び中間評価等を行っている。また、各種の取り組みを展開するにあたり、広報等の協力体制を整えるなど、綿密な連携体制を構築している。また、本学の取り組み等について、地域への周知及び浸透を図るため、新たに広報紙「T-Lion Voice Home」を制作して配布した。
- (2) 地域志向の授業科目については、現状では、三学部共通で「日体大の歴史」が設定されているに止まっている。この他「インターンシップ」などの科目を地域志向科目と位置付けて展開しているが、地域志向人材育成に繋がる十分な編成になっているとは言い難い状

況である。教育課程編成については、2013カリキュラム及び児童スポーツ教育学部、さらには保健医療学部それぞれの完成年度を睨んだ検討を分野別委員会の地域教育活動委員会が行っている。

表4 地域社会連携本部構成員(平成27年度) (敬称略)

役職等	氏名	備考
世田谷区スポーツ推進担当部スポーツ推進課長	笹本 修	
公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団事務局次長	泉 哲郎	
横浜市市民局スポーツ振興部スポーツ振興課長	飯田 能弘	
公益財団法人横浜市体育協会スポーツ振興部長	今井 健雄	
横浜市青葉区総務部政推進課長	室谷 洋一	
日本体育大学社会貢献推進機構連携推進担当	具志堅幸司	体育学部長
日本体育大学社会貢献推進機構教育開発担当	八木沢 誠	学生支援センター長
日本体育大学社会貢献推進機構研究開発担当	中里 浩一	総合スポーツ科学研究センター長
スポーツプロモーション・オフィスオフィステイレクター	白旗 和也	体育学部教授

※ 地域教育活動委員会については前述。(表3-1)

### 【エビデンス集・資料編】

1. 2-(1)-1 地域社会連携本部規則
2. 2-(1)-2 協定書
3. 2-(1)-3 広報紙「T-Lion Voice Home」創刊号
4. 2-(2)-1 「日体大の歴史」のシラバス
5. 2-(2)-2 三学部のカリキュラム

### 【自己評価】

テーマ2は概ね満たしているが、三学部とも地域志向に関する教科目の設定に関する検討・決定が急務である。

### 【改善・向上方策(将来計画)】

地域社会との連携体制はしっかりと構築できているので、今後は、情報交換等をより充実させてさらに効果的な企画が展開できるよう各組織間の協力関係の発展が期待される。

地域志向の人材育成と教育課程編成については、委員会における検討を深め、新たな地域志向科目の設定や体系的な教育課程の編成を実現して、有為な人材育成につなげるよう進める必要がある。なお、地域社会貢献に関連したセミナーやワークショップ等を積極的に開催して、全学的な地域志向の意識醸成に努めることが期待される。

## 〈テーマ3 地域の課題解決に向けた効果的なプログラムの実施と貢献活動の推進〉 評価の観点

- (1) 地域課題の発掘・解消に資する調査・研究を促進し、課題解決に繋がる実効性のあるプログラムを開発



- (2) 人的・物的資源を活かした公開講座等の実施
- (3) ボランティア活動の推進と人材育成への取り組みの充実
- (4) 地域の美化、防災力の向上を図る取り組みの推進

**(評価のポイント)**

- 3-(1) 東京都世田谷区及び青葉区を中心とした横浜市が抱える体育・スポーツに関する課題の抽出に努めるとともに、課題解決に資する研究活動を促進して健康の維持増進、競技力の向上、スポーツ文化の向上、生涯スポーツの進展等を意図したプログラムを検討、具体性のある企画を立案して実行しているか。
- 3-(2) 大学が有する人材等の資源を活用して、地域課題解決に資する公開講座等を開講しているか。
- 3-(3) 地域社会からのボランティア要請等に積極的に対応するとともに、それらの活動を教育課程との連動を図った人材育成に繋げているか。
- 3-(4) 地域社会と連携し、地域の美化に努めるとともに、地域住民を巻き込んだ防災力の向上に努めているか。

**【事実の説明】**

- (1) 平成 27 年度は、学長から総合スポーツ科学研究センター長に対して出された研究活動に関する要請を受け、同センターにおいて「大学の地域スポーツ推進活動による地域住民のスポーツ機会向上効果」及び「大学の地域スポーツ推進活動による地域住民の体力向上効果」をテーマとした2件の研究がスタートし、継続研究としてスポーツに関する地域のニーズの掘り起しや、本学が長年継続的に実施している体力測定によるデータ等をベースとした、特に健康に関する地域課題の抽出に力を入れることとしている。
- (2) 公開講座を7件、スポーツ教室を3件、その他体力測定、日体大スポーツフェスタ 2015などを表5のとおり開催した。体力測定においては、人材バンクの登録学生及び体育学部大石健二准教授が担当する「測定評価学」受講学生が補助員としてボランティア参加をしている。また、10月及び11月に健康体操教室(高齢者向け)を世田谷・健志台で開催する予定としていたが、参加希望者が10名を下回ったためその開催を中止することとした。この後、スポーツ教室として平成28年1月に「ジュニアバレーボール教室」の開催が予定されている。なお、次年度の計画策定の検討にあたり、公開講座等の企画を全学的に公募することとしている。
- (3) ボランティア対応の活性化・迅速化を図るために構築した人材バンクについては、現在(2015年12月4日現在)389名の学生が登録を済ませ、1月から表6に記載したボランティア活動への対応を行っている。また、各方面からの要望・依頼に基づき、表7のとおり体育・スポーツ活動への支援、表8のとおり施設開放を実施している。

表5 公開講座・スポーツ教室の実施状況(1月～12月)

No.	実施日	種別	実施内容	参加人数
1	平成27年07月04日	公開講座	あなたの健康と命を守るために(東京・世田谷)	372名
2	平成27年07月11日	公開講座	指導者スキルアップ講座(東京・世田谷)	32名
3	平成27年07月14日 ～ 平成28年02月27日	スポーツ教室	柔道教室(全73回、横浜・健志台)	13名 ※12月1日 現在
4	平成27年07月19日	公開講座	生活習慣を見直しましょう(横浜・健志台)	24名

5	平成 27 年 07 月 25 日	講座・実技	第 24 回幼児教育講座(東京・世田谷)	53 名
6	平成 27 年 07 月 26 日	スポーツ教室	ママさんバレーボール教室(東京・世田谷)	176 名
7	平成 27 年 10 月 10 日	公開講座	体力測定で今の自分を知る(東京・世田谷) " (横浜・健志台)	50 名 10 名
8	平成 27 年 10 月 18 日	公開講座	指導者スキルアップ講座(横浜・健志台)	7 名
9	平成 27 年 10 月 30 日 ～ 平成 27 年 11 月 01 日	体力測定	日体フェスティバル開催に合わせ地域住民を対象に体力測定 8 種目を実施(横浜・健志台)	900 名
10	平成 27 年 11 月 14 日 平成 27 年 11 月 15 日	体力測定	地域住民を対象に体力測定 8 種目を実施(東京・世田谷)	242 名
11	平成 27 年 12 月 06 日	スポーツ教室	日体大スポーツフェスタ 2015(東京・世田谷) 小学生が対象となり、7 種目(体操、ボクシング、近代五種、アルティメット、弓道、ダブルダッチ、フロアボール)の競技体験をする。	45 名 (保護者含)
12	平成 27 年 12 月 19 日	公開講座	現在の自分の体力に必要な栄養と運動(東京・世田谷) " (横浜・健志台)	9 名 4 名

表6 人材バンクを活用して対応したボランティア活動(1月～12月)

No.	実施日	依頼先・実施内容	対応学生等	人数
1	平成 27 年 03 月 20 日	社会福祉法人新日本学園 ともしび会 球技大会	少林寺拳法部	8 名
2	平成 27 年 04 月 23 日 平成 27 年 04 月 24 日	杉並区立神明中学校 宿泊行事の手伝い	人材バンク	2 名
3	平成 27 年 04 月 28 日 ～ 平成 28 年 03 月 25 日	桜新町新和会 ゴミゼロデー(年 2 回)	和泉寮生	7 名
4	平成 27 年 05 月 23 日	社会福祉法人新日本学園 ともしび会 野外活動	少林寺拳法部	5 名
5	平成 27 年 05 月 ～ 平成 28 年 03 月	こども教室 みやっ CO-LABO 運動教室	児童スポーツ教育学部	延べ 45 名
6	平成 27 年 06 月 06 日	社会福祉法人新日本学園 ともしび会 社会科見学	少林寺拳法部	5 名
7	平成 27 年 06 月 17 日 ～ 平成 27 年 06 月 20 日	大田区立蒲田中学校 野辺山移動教室	人材バンク	1 名
8	平成 27 年 06 月 21 日	深沢地区こみ減量・リサイクル推進委員会 古着・古布回収	深沢寮生	7 名
9	平成 27 年 06 月 21 日	特別養護老人ホーム 等々力の家 等々力の家地域合同総合消防訓練	深沢寮生	6 名
10	平成 27 年 08 月 01 日	深沢中央商店街振興組合 納涼盆踊り大会 2015	深沢寮生	31 名

11	平成 27 年 10 月 18 日	深沢児童館 こどものまち フェスティバル	深沢寮生	7 名
12	平成 27 年 12 月 06 日	深沢地区こみ減量・リサイクル推進委員会 古着・古布回収	深沢寮生	14 名

表7 体育・スポーツ活動への支援状況(1月～12月)

No.	活動内容	実施場所	参加者	実施日
1	ダブルダッチ指導	世田谷区立松沢保育園	5 名	平成 27 年 02 月 09 日
2	バドミントン指導	大田区立調布大塚小学校 体育館	1 名	平成 27 年 4 月～3 月
3	バドミントン指導	大田区立谷口東小学校 体育館	1 名	平成 27 年 5 月～10 月
4	ダブルダッチ指導	世田谷区立松沢保育園	5 名	平成 27 年 05 月 22 日
5	保育園の活動補助	世田谷区立深沢保育園	52 名	平成 27 年 05 月 30 日
6	生涯大学第 13 回学園祭 演技指導(ダンス部)	世田谷生涯大学日本建築コース*	1 名	平成 27 年 06 月 10 日
7	ダブルダッチ指導	世田谷区立小梅保育園	4 名	平成 27 年 06 月 17 日
8	保育園の活動補助	世田谷区立深沢保育園 社会福祉法人用賀なのはな保育園	52 名	平成 27 年 07 月 04 日
9	保育園の活動補助	世田谷区立深沢保育園	4 名	平成 27 年 08 月 01 日
10	ダブルダッチ指導	世田谷区立小梅保育園	4 名	平成 27 年 08 月 19 日
11	ダブルダッチデモンストレーション	世田谷区立新町保育園	5 名	平成 27 年 08 月 28 日
12	ダブルダッチ演技披露	桂台学童保育ちびっこの家	5 名	平成 27 年 08 月 28 日
13	WING DANCE PROMOTION 21th ANNIVERSARY DANCE FESTIVAL(ダンス部)	千葉県浦安市舞浜アンフィシアター	21 名	平成 27 年 08 月 30 日
14	鑑賞教室(演技披露) (ダブルダッチサークル、新体操クラブ)	船橋市立古和釜小学校	14 名	平成 27 年 09 月 03 日
15	ダブルダッチ指導	世田谷区立小梅保育園	4 名	平成 27 年 09 月 24 日
16	世田谷区立玉川小学校 ファミリーデー(新体操クラブ)	世田谷区立玉川小学校 PTA	10 名	平成 27 年 10 月 03 日
17	平成 27 年度体育公開研究会 (ダブルダッチサークル)	習志野市立津田沼小学校	5 名	平成 27 年 10 月 15 日
18	第 6 回こまフェスタ (ダブルダッチサークル)	区立駒沢小学校	9 名	平成 27 年 11 月 03 日
19	生涯大学第 13 回学園祭 演技指導(ダンス部)	世田谷生涯大学日本建築コース*	1 名	平成 27 年 11 月 04 日
20	土曜参観(オープンスクール)後の 校内交流会(ヒップホップ同好会)	奈良の丘小学校 PTA おやじの会	5 名	平成 27 年 11 月 07 日
21	みんなで跳ぼう!ダブルダッチ	練馬区青少年育成 谷原地区委員会	5 名	平成 27 年 11 月 22 日
22	保育園の活動補助	世田谷区立深沢保育園	46 名	平成 27 年 12 月 03 日
23	保育園の活動補助	世田谷区立深沢保育園	50 名	平成 27 年 12 月 04 日

24	子どもの夢を育てる飛び縄を使った体育教育(ダブルタッチサークル)	御殿場市立高根小学校	5名	平成27年12月04日
25	世田谷区 才能のある芽を育てる体験学習スポーツ能力発見講座(人材バンク)	一般社団法人 スポーツ能力発見協会	1名	平成27年12月05日
26	保健体育授業(柔道女子)支援(柔道部:女子)	世田谷区立尾山台小学校	1名	平成27年12月07日 ～ 平成27年12月18日

表8 施設開放(1月～12月)

No.	実施日	依頼先	内容	開放施設
1	平成27年03月25日	世田谷区立深沢小学校	謝恩会	Nレストラン
2	平成27年03月25日	世田谷区立中町小学校	謝恩会	Sレストラン
3	平成27年03月25日	世田谷区立桜町小学校	謝恩会・卒業お祝い会	1201教室
4	平成27年10月17日	世田谷区立深沢保育園	運動会(雨天時)	記念講堂
5	平成27年10月17日	グリーンフィールド上野毛保育園	親子お楽しみ会	体操場

(4) 地域の美化運動については、学友会総務部を中心として表9のとおり実施した。また、防災訓練については、平成27年10月3日(土)・4日(日)の2日間で、横浜・健志台キャンパスにおける宿泊体験型の防災訓練を実施した。しかし、東京・世田谷キャンパスについては、当初、実施の予定で調整を進めていたが、地域まちづくりセンター等との調整が不調におわり、今年度の実施は見送らざるを得ないこととなった。

表9 地域の美化運動・防災訓練等(1月～12月)

No.	実施日	実施内容及び場所	実施担当者	参加者数
1	平成27年6月13日	東京・世田谷キャンパス周辺の清掃 横浜・健志台キャンパス周辺の清掃	学友会	107名
2	平成27年7月5日	千葉県南房総市岩井海岸	学友会	89名
3	平成27年10月03日 平成27年10月04日	地域住民を対象に宿泊体験型として防災訓練を実施した。(横浜・健志台)	スポーツプロモーション・オフィス 学生支援センター健志台事務室 他	350名
4	平成27年10月10日	東京・世田谷キャンパス周辺の清掃 横浜・健志台キャンパス周辺の清掃	学友会	112名
5	平成27年11月21日	澁谷駅周辺の清掃	学友会	80名
6	平成27年12月05日	東京・世田谷キャンパス周辺の清掃 横浜・健志台キャンパス周辺の清掃	学友会	84名

### 【エビデンス集・資料編】

1. 3-(1)-1 平成27年度社会貢献事業報告書
2. 3-(1)-2 研究テーマ中間報告書
3. 3-(2)-1 公開講座パンフレット・講義要項等
4. 3-(2)-2 公開講座実施報告書

- 5. 3-(3)-1 社会貢献事業派遣受付簿
- 6. 3-(3)-2 幼稚園・保育園における活動補助者事業の実施報告書
- 7. 3-(4)-1 平成 27 年度日本体育大学防災訓練実施計画書及び実施報告書

### 【自己評価】

テーマ3は満たしている。

### 【改善・向上方策(将来計画)】

得られた研究成果の還元と成果に基づいた効果的なプログラムの企画・立案を積極的に推進する。公開講座、スポーツ教室等については、全学に公募形式で募集するなどして、多様な資源の開放が実現できるよう努める必要がある。また、学生の人材バンクについては、周知徹底を図ってさらなる登録者の増加を目指すことと併せ、外部からの要望や依頼への対応をさらに工夫してスピードアップと確実性の向上を目指すものとする。なお、健康体操教室(高齢者向け)が参加希望者少数のため開催が中止となったこと及び参加者数が少数に止まった公開講座については、企画内容・広報の方法と時期等を精査する必要がある。

美化運動については、学友会総務部に依存しないよう、全学的な取り組みに昇華させるべく検討をするとともに、防災訓練については、宿泊体験型は経費面・対応者等の実施負担も大きいことから両キャンパスの隔年開催をも視野に入れた検討が必要である。